

# アジアの活力を取り込む 先端成長産業の国際拠点

## 福岡県

日本海、瀬戸内海、有明海の3つの海に面し、古来より日本と海外を結ぶ窓口として発展してきた福岡県。アジアの玄関口として九州の国際コンテナ貨物の約9割を取り扱う「博多港」と「北九州港」が有名であるが、自動車関連産業を支え、博多港とほぼ同等の貨物量を取り扱う苅田港で、国内最大級の規模を誇る「新松山臨海工業団地」の分譲を4月に開始する。

唯一日本海側の、アジアを向いた大都市圏として発展を続ける福岡県。官営八幡製鐵所の操業開始以来、日本の近代化、発展をけん引してきたこの地には、技術の蓄積があり、「ものづくり」を支える多くの企業が集積している。また、上海、ソウルが東京よりも近いという地理的条件にある。

自然災害が少なく、南海トラフ巨大地震による津波の影響も少ないとされる福岡県は、新たな生産拠点を設けて事業継続計画（BCP）を充実させる面からも立地に適していると言えるだろう。

さらに、福岡県は、高水準の教育と技術力を身につけ、働く意欲に満ちた優秀な若い人材が豊富で、中国・韓国を中心としたアジアからの留学生が多いのも特徴。成長著しいアジアに近く、アジアの活力を取り込む生産拠点として、また次世代産業の戦略的な立地になう国際拠点として期待がかかる。



### 新松山臨海工業団地



平成27年4月、国内最大級の規模を誇る「新松山臨海工業団地」の分譲が開始される

### 陸海空に直結した交通の結節点

「新松山臨海工業団地」は、半径500m以内で九州自動車道の苅田北九州空港インターチェンジ、苅田港、北九州空港を要する交通の結節点であり、福岡県の中でも充実した交通インフラが際立つ、約40分の大規模臨海工業用地である。苅田港周辺には、日産自動車九州、日産車体九州、トヨタ自動車九州の苅田工場と小倉工場が立地し、大手3社の完成自動車工場と部品工場が操業する自動車関連産業の集積地である。現在、福岡県の基幹産業である自動車関連産業は、製造業の製品出荷額の3割を担うが、苅田港は、自動車輸出額で九州1位、全国でも4位を誇っている。また、セメント関連企業も多く、三菱マテリアル九州工場は、セメント生産能力で国内最大、出荷量でも全国1位を誇る。国の総合特区評価において、二年連続で最高評価「A」を獲得した「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定区域でもある「新松山臨海工業団地」において、法人指定を受ければ、特区関連事業に対して規制や課税の特例措置のほか低利融資、立地交付金などの支援が受けられる。



苅田港には日産自動車の国内最大拠点があり、53万台の生産能力を誇る



苅田港に立地する三菱マテリアル九州工場は国内最大の生産能力を有するセメント工場

平成27年4月 分譲開始



#### 新松山臨海工業団地（福岡県）

- ◎高速道路、港湾、空港へダイレクトにアクセス
- ◎災害に対する事業継続力が高い

面	積	約40万m <sup>2</sup>
単	価	22,000円/m <sup>2</sup> (坪 72,600円)
地	質・地盤	第3種



kanda-kitakyushu kuko IC

#### 自動車関連産業が集積

東九州自動車道 苅田北九州空港ICから4km（6分）

は、年間150万台以上の生産能力を有する国内の自動車産業を支える一大拠点である。日産とダイハツ両グループは国内第1位、トヨタグループは国内第2位の生産拠点を、各社、最新鋭の生産設備を有している。九州東部主要都市の自動車関連企業をはじめ、さまざまな企業からの輸送需要の高まりが予想される中、陸海空の交通の結節点である「新松山臨海工業団地」は、生産や物流の拠点としての期待がさらに高まっている。



東北九州自動車道の開通は人流、物流の起爆剤になると期待される



Kanda port

#### 海上輸送の機能性向上が進む苅田港

苅田港から0km（0分）

05年にはトヨタ自動車九州苅田工場、2008年のトヨタ自動車小倉工場、2009年には日産車体九州がそれぞれ進出した。大手企業の進出、その必要性から港ができた生粋の産業港と言え、苅田港は、自動車関連産業やセメント関連企業を支える重要な役割を担っている。その苅田港では、港湾機能強化のため、「新松山臨海工業団地」に隣接した埠頭用地や4万㎡級の貨物船に対応した水深13メートルの深水岸壁の整備も着々と進んでおり、海上輸送の機能性向上が期待される。



拡大し続ける苅田港。進出する企業が多くその必要性から港ができた生粋の産業港



kitakyushu Air port

#### 国際的な物流拠点や航空機産業の立地も

北九州空港から3km（5分）

2006年に開港した北九州空港は、九州で唯一24時間利用可能な海上空港である。早朝・深夜便やLCCの誘致、企業や地域住民のニーズの高い路線展開を進めるとともに、貨物拠点化に向け発展することを目指している。現在、北九州空港と苅田空港、名古屋空港と結ぶ路線がそれぞれ就航しているが、福岡都市圏と北九州空港を結ぶリムジンバスの導入検討が進む中、就航路線の拡大が期待される。また、定期貨物便が運航する北九州空港は、東九州自動車道の新全線開通を契機として、



北九州空港。写真奥の海上橋を渡ったすぐ「新松山臨海工業団地」がある

福岡県商工部企業立地課

ホームページ <http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/>

〒812-8577

福岡市博多区東公園7-7

TEL 092-643-3441

FAX 092-643-3443

福岡県

お問合せ先